

ご使用になる前に必ずお読みください

同梱のベースフレーム取付説明書、レカロシート取扱説明書（シートご購入時付属品）を一緒にご覧ください。
販売店さまへ 本書は必ずお客様にお渡しください。

レカロシート取付説明書

TY2136-2507001

メーカー	車種	年式	型式	部品番号
TOYOTA	TOWN ACE	2022/2 ～	S403LM S413LM	9080.017.1 9080.018.2

品質向上などのため、予告なしに一部の仕様を変更する場合があります。

レカロ株式会社

〒527-0066 滋賀県東近江市柴原南町 1570-1
レカロコール ☎ 0800-919-5881 受付時間 10:00 - 12:00 13:00 - 18:00
営業日 土日、祝日、弊社休業日を除く平日 ※IP 電話以外よりお掛けください。



作業前に準備しておくこと

- 必要工具などについて
- ◎基礎工具類 ……スパナ、レンチ、六角レンチ、プライヤー、ペンチなど
 - ◎本製品に必要となる特殊工具 ……スパナ：24mm
 - ◎配線処理部材 ……結束バンド、絶縁テープなど
 - ◎保護具 ……作業時は、長袖や手袋などの保護具を着用してください
 - ◎保護カバー ……シート脱着時に車両を傷つけないよう、毛布などでカバーしてください

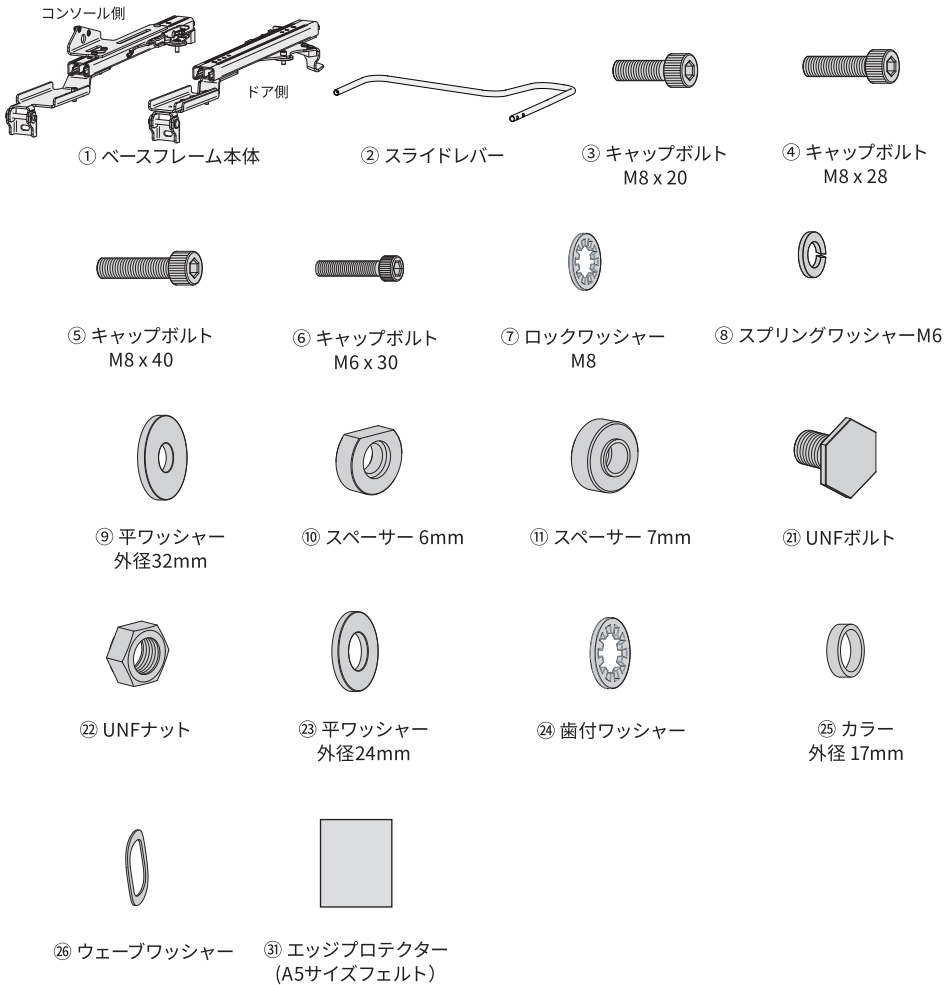
構成部品

ベースフレーム構成部品		数量	備考
①	ベースフレーム本体	2	ドア側 x 1、コンソール側 x 1
②	スライドレバー	1	ベースフレーム本体に取り付け
③	キャップボルト	M8 x 20mm	シート本体とベースフレーム本体の取り付けに使用 ※使用するボルトは、取り付けシートや使用スペーサー枚数によって異なります。
④	キャップボルト	M8 x 28mm	
⑤	キャップボルト	M8 x 40mm	
⑥	キャップボルト	M6 x 30mm	
⑦	ロックワッシャー	M8	シート本体とベースフレーム本体の取り付けに使用
⑧	スプリングワッシャー	M6	シート本体とベースフレーム本体の取り付けに使用
⑨	平ワッシャー	外径32mm	ベースフレーム本体の車内フロア固定時に使用
⑩	スペーサー	6mm	シート本体とベースフレーム本体の取り付けに使用
⑪	スペーサー	7mm	シート本体とベースフレーム本体の取り付けに使用

シートベルトバックルアンカー取り付け用部品		数量	備考
⑫	UNFボルト	1	シートベルトバックルの取り付けに使用
⑬	UNFナット	1	
⑭	平ワッシャー	外径24mm	
⑮	歯付ワッシャー		
⑯	カラー	外径17mm	
⑰	ウェーブワッシャー		

その他の構成部品		数量	備考
⑱	エッジプロテクター	210 x 150	ベースフレームエッジ部分の保護に使用

構成部品



作業手順

1

バッテリーのマイナス端子を外して放電させる

※すべての電気経路がリセットされますので、再設定が必要です。

※BMWやAUDIなど、一部の輸入車においてバッテリーの端子を外すことを推奨しない車両もございます。同梱の車種別取付説明書をご確認ください。

⚠ 禁止

濡れた手で作業しないでください。

感電の恐れがあります。

2

純正シートを固定しているボルトや配線を取り外す

⚠ 厳守

作業にあった工具をご使用ください。

間違った工具や粗悪な工具を使用すると正しく組みつけができず、部品の破損や思わぬけがの原因となります。

作業時は、**長袖や手袋などの保護具をご使用ください。**

素肌が露出した状態で作業すると、金属部分のエッジなどと接触し、けがをする恐れがあります。

3

純正シートを車外に取り出す

⚠ 厳守

作業時は車両を傷つけないよう**保護カバー**をご使用ください。

レカロシートの取り付けが完了するまで保護カバーをつけたままにしておいてください。

4

純正シートからシートベルトバックルを取り外す

※作業には純正シートレールをシートから取り外す必要があります。

シートベルトバックルにつながっている配線も取り外します。

⚠ 厳守

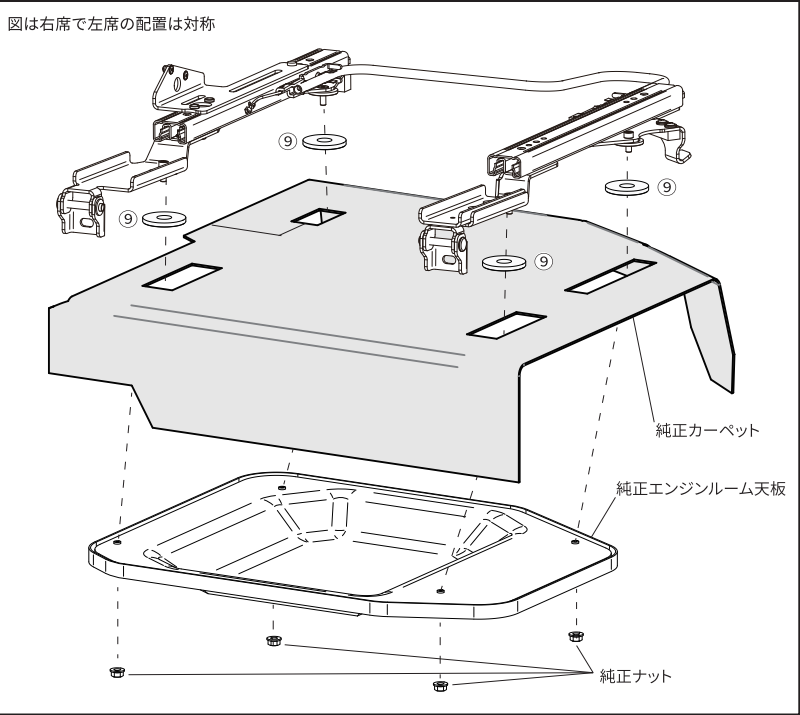
作業にあった正しい工具をご使用ください。

間違った工具や粗悪な工具を使用すると正しく組みつけができず、部品の破損や思わぬけがの原因となります。

7

シート裏面に、純正カーペット、純正エンジンルーム天板を取り付ける純正ナットで固定します。

※純正カーペットには必要に応じて、スリットや切り欠きを追加します。



締め付けトルク M6 9.2±1Nm

⚠ 厳守

記載の締め付けトルクで締め付けてください。

適正なトルクで締め付けができていないと、ボルトの破断や緩みが発生し、重大な事故の原因となります。

8

シートを車内に入れ、シートベルトバックルの配線をつなぐ

※レールに配線が噛みこまないよう、結束バンドなどで束ね、固定してください。

⚠ 注意

配線がむき出しのエッジ部で損傷し火災や事故の原因となります。

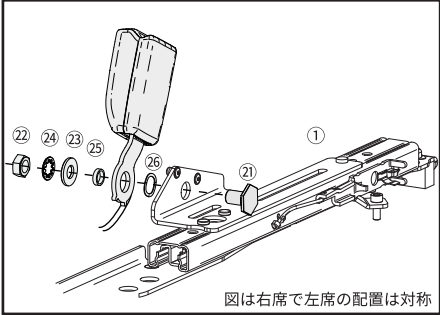
付属のエッジプロテクターで保護してください。

5

シートベルトバックルをベースフレーム本体に取り付ける

取り外したシートベルトバックルを、付属部品を使用してベースフレーム本体①のアンカーブラケットに取り付けます。

締め付けトルク:UNF 7/16 44±4Nm



⚠ 厳守

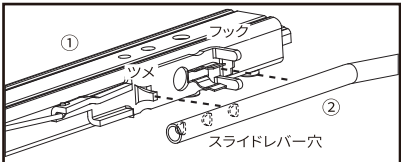
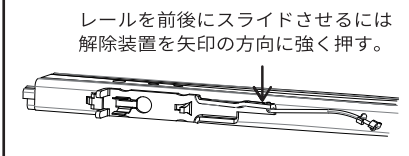
記載の締め付けトルクで締め付けてください。

適正なトルクで締め付けができていないと、ボルトの破断や緩みが発生し、重大な事故の原因となります。

6

スライドレールをシートに固定し、スライドレバーを取り付ける

※スペーサーの使用枚数は、装着シートにより異なりますのでベースフレーム取扱説明書「ベースフレームとシートの組み付け方」をご参照ください。



締め付けトルク
M6 9.2±1Nm / M8 24±2Nm

※固くてはまりにくい場合は、プラスチックハンマーなどを使用してください。

⚠ 厳守

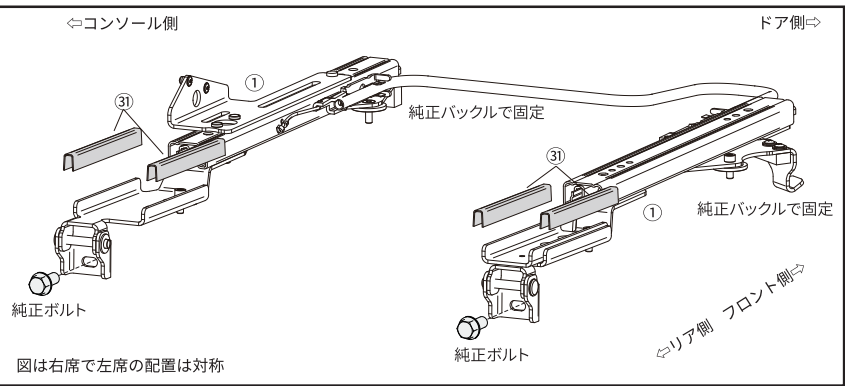
記載の締め付けトルクで締め付けてください。

適正なトルクで締め付けができていないと、ボルトの破断や緩みが発生し、重大な事故の原因となります。

9

シートをフロアに固定する

最初にリアフロアに純正ボルトで仮固定し、次にフロント側純正バックル2か所で固定し位置決めます。最後に純正ボルトを本締めしてください。



純正ボルト:車の整備書を参照し適正な締め付けトルク値を確認し締め付けてください。

⚠ 厳守

レールを前後端までスライドさせ、手順8でつないだ各種配線につっぱりや緩み、噛みこみがないことを確認してください。

正しく取り付けできていないと、ハーネスが断線し火災や思わぬ事故の原因となります。再調整の際も同様に確認をしてください。

記載の締め付けトルクで締め付けてください。

適正なトルクで締め付けができていないと、ボルトの破断や緩みが発生し、重大な事故の原因となります。

10

エッジプロテクターを貼る

ベースフレームのエッジ部(手順9の図を参照)、フロア固定ボルト部のエッジなどに、エッジプロテクター③を適当な大きさに切り、貼り付けてください。

⚠ 注意

むき出しのエッジ部にぶつかると思わぬ怪我につながる恐れがあります。

付属のエッジプロテクターでエッジ部を保護してください。

11

バッテリーのマイナス端子を接続する

イグニションスイッチをONにし、エアバッグ警告灯が消灯し、シートベルトのリマインダーが正常に作動することを確認してください。